

産業衛生技術部会 2024 年度第一回・第二回拡大幹事会
議事録（案）

第一回：2024 年 5 月 20 日（月）10:00～12:00，オンライン（ZOOM）

第二回：2024 年 5 月 25 日（土）12:25～13:25，第 11 会場（中国新聞ビル 7F 703 会議室）

（注）学会期間中に開催する第二回拡大幹事会の時間が短いため，2 回に分けて開催した。

議事録

1. アジア労働衛生ネットワーク学会（ANOH）日本開催検討について（橋本部会長，資料 1）

(1) 開催検討の経緯と現状

- ・ 昨年 9 月の幹事会で本検討を進めることが承認され，検討チームを立ち上げて準備を進めてきた。
- ・ その結果，いくつかの重要な課題が明らかになったことから，当初の予定だった 2026 年開催は断念し，当面は 2028 年以降の開催を想定して，不足している要素を充足させることに注力する必要があるとの説明があった。
- ・ 主な課題としては，主催者の問題，人的リソースの不足，収支見通しの不透明さ，関係団体の関心の低さなどが挙げられた。

(2) 主催者と関係団体の状況

- ・ 学会本部との協議の結果，産業衛生学会や技術部会が主催者にはなれないことが確認された。
- ・ この場合，主催者は ANOH 本部であり，開催地の団体は現地実行委員会となる。
- ・ 日本作業環境測定協会（日測協）との協議では，日測協としては積極的な関与は難しいとの回答があった。日測協会員へのアンケートでも，関心が低いことが明らかとなった。
- ・ コンサルタント協会への働きかけも必要であると指摘された。

(3) 外部委託業者の見積もりと人員計画

- ・ 外部委託業者（PCO）への見積もり依頼の結果が報告された。
- ・ 全面委託の場合は 2,500 万円程度，部分委託でも 2,100 万円程度の費用が見込まれる。
- ・ 事務局運営スタッフとして，全面委託の場合でも 10 名程度，部分委託の場合は 30 名程度の人員が必要と試算された。
- ・ 助成金についても，東京都観光局から 700 万円程度，国からも一定額の支援が見込まれる旨が報告された。

(4) 課題と今後の方針

- ・ 以上の報告を受けて，課題と今後の方針について議論が行われた。
- ・ 主な課題は，人的リソースの確保，収支の見通し，関係団体の関心の醸成など。
- ・ 今後は，技術部会を中心に国際交流や国際学会への関心を高める活動を行い，開催に向けた環境づくりに注力することが確認された。
- ・ 一定の条件が整えば近い将来の開催が現実化すると考えられるとの意見があった。

- ・ 具体的な条件としては、協力者数の確保、確実な黒字の見通し、ホームページ等の整備、関心の増加などが挙げられた。
2. 昨年度決算ならびに今年度予算について（会計担当，資料2）
- ・ 昨年度の会計報告と本年度の予算案が報告された。
 - ・ 昨年度は活動量を増やすことで残金を適切に使用できたとの報告があった。
 - ・ 本年度は 169 万円の予算が組まれており、技術部会の活動を活発化させるため、予算の適切な執行が求められているとの報告があった。
 - ・ 会計監査役からも適切な執行がなされたことが報告された。
3. 教育研修の計画についての進捗報告（教育研修担当，資料3）
- ・ 第 97 回学会の企画案として、「適切な化学物質リスクアセスメント」と「受動喫煙対策」が提案された。
 - ・ 以降の企画についても検討が行われ、国際協力の推進や倫理綱領の周知など、様々な課題に対応した企画が求められていることが議論された。
 - ・ 各地方会の活動状況についても報告があった。
 - ・ 国際協力の推進に向けて、学会での国際セッションの設置や、海外の有識者を招待するなどの具体的な取り組みが提案された。

以上。